

講義コード	20DCSh0202
講義名	比較文化学特論Ⅱ
講義開講時期	後期 2nd Half
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
研究科等	文化科学研究科
専攻・プログラム	比較文化学専攻
科目区分	共通科目
授業を担当する教員	Peter Joseph Matthews
担当教員	
氏名	
Peter Joseph Matthews	

授業の概要

私たち自身の存在の基礎を理解するために、私たちは現在の生活と人類学の境界の外を学域として見なければならぬ。取り組むべきトピックは次のとおり。

1. 標準的なカテゴリーと定義 対 フィールド調査 (学習バイアス)
2. 人類学、民族学、考古学、生物学
3. 概念的なピラミッド：食品、医薬品、物質文化
4. 人間生態学とニッチコンストラクション (人間、植物、動物、環境)
5. 一次および二次製品、およびツールを作成するためのツール
6. 家と実際のピラミッドの構築：物質文化の事例研究
7. 植物の栽培化、動物の家畜化、および環境
8. 埋め込まれた知識 対 実例や口頭での指導
9. 民族学および生物学的コレクションの資料
10. ソースコミュニティに戻る：人間、文化、生物学

到達目標

技術の人類学を、理論的および実践的に重要な研究分野として紹介する。受講生は、材料、有形物、および技術への人類学的アプローチの広い範囲を発見する。

成績評価基準

	成績評価基準
成績評価基準	01:A,B,C,Dの4段階評価

成績評価方法

受講者は、調査シートまたはアンケートへの回答、および関連するタスク (著述と討議) に基づいて採点される。この講義は「正解する」ことに関心を置かない。受講生自身の考えや視点の簡潔で明確な表現を重視する。

授業計画

講義は、リストされたそれぞれのトピックにつき、それぞれ30~60分おこなう。結果として、2~3日の期間で5~10時間の講義となる。

実施場所

状況に応じて、直接および/またはオンラインで。天候やその他の条件が許せば、講義には関西圏でのフィールドワークが含まれる場合がある。

使用言語

英語

教科書・参考図書

講義の間に、次の記事や文献が討議され、推奨される。

Diazgranados, M., B. Allkin, N. Black, R. Cámara-Leret, C. Canteiro, J. Carretero, R. Eastwood, S. Hargreaves, A. Hudson, W. Milliken, M. Nesbitt, I. Ondo, K. Patmore, S. Pironon, R. Turner, and T. Ulian (2020). World Checklist of Useful Plant Species. Knowledge Network for Biocomplexity & Royal Botanic Gardens: Kew

Matthews, P. J. 2022. Plants as Records of Human and Biological History: Exploring the Ethnological Collection, In: M. Han, N. Niwa (eds) Rethinking History: Perspectives on Recording Media, Practice, and Construction. Senri Ethnological Studies 110., pp. 11-32. National Museum of Ethnology: Osaka.

Richards, R. and P. J. Matthews. 2021. Barkcloth from the Solomon Islands in the George Brown Collection. In J Specht, V Attenbrow, J Allen (eds), From Field to Museum—Studies from Melanesia in Honour of Robin Torrence. Tech. Rep. Aust. Mus.

Online, No. 34, pp. 245–258. Sydney: The Australian Museum.

Spriggs, M., D. Addison and P. J. Matthews (Eds.), 2012. Irrigated Taro (*Colocasia esculenta*) in the Indo-Pacific: Biological, Social and Historical Perspectives, pp. 341-347. National Museum of Ethnology, Osaka.

Matthews, P.J. 2007. Plant Trails in Oceania (in Japanese) in National Museum of Ethnology (ed) Oceania: Human Migration Across the Ocean, pp. 46-51. Showado, Kyoto.

Matthews, P.J. 2002 Taro Storage Systems. In S. Yoshida and P. J. Matthews, (eds), *Vegeculture in Eastern Asia and Oceania*. JCAS Symposium Series, No. 16, pp. 135-163. Japan Center for Area Studies: Osaka.